



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月1日

上場会社名 東リ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼経理財務部長 (氏名) 荒木 陽三

TEL 06-6494-6691

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	43,972	5.4	353	17.2	504	9.6	572	156.5
2019年3月期第2四半期	41,734	1.1	301	73.1	459	63.2	223	73.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 476百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 12百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	9.28	
2019年3月期第2四半期	3.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	75,509	36,020	47.4
2019年3月期	77,654	36,042	46.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 35,814百万円 2019年3月期 35,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		2.00		8.00	10.00
2020年3月期		5.00			
2020年3月期(予想)				8.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 記念配当3円00銭
詳細は、2019年5月8日公表の「『創業百年』記念配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	4.0	2,400	20.5	2,600	15.9	1,950	44.9	31.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	66,829,249 株	2019年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	5,141,227 株	2019年3月期	5,140,738 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	61,688,293 株	2019年3月期2Q	61,688,915 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な設備投資や雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦の波及による世界経済の不確実性や中東情勢の不安定化など、先行きの不透明感が増しております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、人手不足などによる工期の遅れが見られるものの、都市部を中心とした大型再開発が本格化し、インバウンド対応でのホテル関連需要も期待されます。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画『SHINKA-100』フェーズⅡ(2018～2020年度)において、3つの「SHINKA」(進化・深化・真価)をベースとした重点戦略に取り組んでおります。フェーズⅡの2年目である当期の第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高43,972百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益353百万円(前年同期比17.2%増)、経常利益504百万円(前年同期比9.6%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、販売子会社の本社移転に伴い固定資産売却益を計上したこと等により572百万円(前年同期比156.5%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、前期発売新製品の市場への浸透及び当期発売新製品の積極的な販促活動により、売上高は26,353百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

塩ビ床材では、前期に発売したビニル床シート「ヒトエ」や「フロアリュームNW」が医療施設や教育施設など幅広い分野において採用が進み、また当期に発売した置敷きビニル床タイル「ルースレイタイル」や「ロイヤルシリーズ」の売上も伸長しました。

カーペットでは、オフィス需要が堅調である中、主力製品であるタイルカーペット「GA-100シリーズ」が好調に推移しました。また、ホテル需要の拡大に伴い、ロールカーペットの売上も増加しました。

壁装材では、高い機能性と豊富な意匠性を持つビニル壁紙「VS」及び「パワー1000」が引き続き売上を牽引しました。

カーテンは、5月に発売した新総合見本帳「フフル」の販促活動に注力し、各方面から高い評価を受け、カーテン全体の売上を押し上げました。

これらの結果、主要製品4分野での売上高はいずれも前年同期を上回りました。

利益面では、販売価格の改定や基幹システム更新による業務効率化、製造原価低減に取り組みましたが、減価償却費や新製品の発売・改廃に伴う販売促進費の増加等により、セグメント利益は374百万円(前年同期比13.5%減)となりました。

<インテリア卸及び工事事業>

インテリア卸事業におきましては、堅調なオフィス・ホテル需要を背景に床材やカーペットなどの受注が増加し、またカーテンレール・ブラインドなどの窓回り商品の販促活動強化により、売上が好調に推移しました。工事事業につきましては、都市部を中心とする大型物件の受注等により、売上が増加しました。これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は28,462百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

利益面では、販促活動強化のための販売促進費及び見本費の増加はあったものの、売上高の増加及び販売価格の改定に取り組んだこと等により、セグメント利益は274百万円(前年同期比63.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

<資産>

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,642百万円減少し、45,907百万円となりました。これは主に、前年度の第4四半期に増加した売上に係る債権の回収が進み、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ502百万円減少し、29,601百万円となりました。これは主に、販売子会社の本社移転に伴い土地及び建物等を売却したことによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,145百万円減少し、75,509百万円となりました。

<負債>

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,322百万円減少し、29,238百万円となりました。これは主に、前年度の第4四半期に増加した仕入に係る債務の支払いが進み、支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ800百万円減少し、10,250百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,123百万円減少し、39,488百万円となりました。

<純資産>

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、36,020百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,693百万円増加し、9,442百万円(前第2四半期連結累計期間9,916百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,762百万円の収入(前年同期2,513百万円の収入)となりました。仕入債務の減少額の減少等により、前年同期に比べ収入が増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、305百万円の支出(前年同期962百万円の支出)となりました。有形固定資産の売却による収入の増加等により、前年同期に比べ支出が減少しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、748百万円の支出(前年同期838百万円の支出)となりました。長期借入金の増減等により、前年同期に比べ支出が減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月25日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,825	9,518
受取手形及び売掛金	27,065	22,615
商品及び製品	8,414	8,872
仕掛品	1,187	1,427
原材料及び貯蔵品	1,660	1,782
その他	1,453	1,737
貸倒引当金	△56	△46
流動資産合計	47,550	45,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,119	6,463
機械装置及び運搬具(純額)	2,878	2,780
工具、器具及び備品(純額)	400	388
土地	9,556	9,029
建設仮勘定	1,048	786
その他(純額)	60	65
有形固定資産合計	20,063	19,512
無形固定資産		
ソフトウェア	1,543	1,499
その他	107	52
無形固定資産合計	1,650	1,552
投資その他の資産		
投資有価証券	5,237	5,243
繰延税金資産	912	934
その他	2,339	2,459
貸倒引当金	△99	△100
投資その他の資産合計	8,390	8,536
固定資産合計	30,104	29,601
資産合計	77,654	75,509

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,098	21,274
短期借入金	2,070	3,070
未払法人税等	355	362
未払費用	1,704	1,562
賞与引当金	761	738
環境対策引当金	7	—
その他	2,562	2,230
流動負債合計	30,560	29,238
固定負債		
長期借入金	4,555	3,555
退職給付に係る負債	3,881	3,865
その他	2,614	2,829
固定負債合計	11,051	10,250
負債合計	41,612	39,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	21,975	22,054
自己株式	△1,122	△1,122
株主資本合計	34,135	34,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,748	1,658
為替換算調整勘定	△3	△6
退職給付に係る調整累計額	△46	△51
その他の包括利益累計額合計	1,698	1,600
非支配株主持分	208	205
純資産合計	36,042	36,020
負債純資産合計	77,654	75,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	41,734	43,972
売上原価	30,316	31,899
売上総利益	11,418	12,072
販売費及び一般管理費	11,116	11,719
営業利益	301	353
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	76	98
仕入割引	40	39
保険配当金	46	40
その他	99	106
営業外収益合計	265	287
営業外費用		
支払利息	38	37
売上割引	61	64
為替差損	—	28
その他	6	6
営業外費用合計	107	136
経常利益	459	504
特別利益		
固定資産売却益	—	986
特別利益合計	—	986
特別損失		
固定資産除却損	60	18
固定資産圧縮損	—	592
投資有価証券評価損	5	—
特別損失合計	66	611
税金等調整前四半期純利益	393	879
法人税、住民税及び事業税	138	286
法人税等調整額	21	19
法人税等合計	160	305
四半期純利益	233	573
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	223	572

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	233	573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△271	△89
為替換算調整勘定	△2	△2
退職給付に係る調整額	27	△5
その他の包括利益合計	△246	△97
四半期包括利益	△12	476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22	475
非支配株主に係る四半期包括利益	9	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	393	879
減価償却費	749	911
固定資産除却損	60	18
固定資産圧縮損	—	592
固定資産売却益	—	△986
投資有価証券評価損益(△は益)	5	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△31	△15
受取利息及び受取配当金	△79	△101
支払利息	38	37
売上債権の増減額(△は増加)	5,983	4,447
たな卸資産の増減額(△は増加)	△958	△820
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,005	△1,820
その他	△184	△251
小計	2,971	2,882
利息及び配当金の受取額	79	101
利息の支払額	△38	△37
法人税等の支払額	△498	△183
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,513	2,762
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△768	△1,192
有形固定資産の売却による収入	—	1,241
無形固定資産の取得による支出	△19	△260
投資有価証券の取得による支出	△22	△104
貸付けによる支出	△3	△9
貸付金の回収による収入	9	6
その他	△159	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△962	△305
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	700	200
長期借入金の返済による支出	△800	△200
配当金の支払額	△493	△493
その他	△245	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△838	△748
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	740	1,693
現金及び現金同等物の期首残高	9,176	7,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,916	9,442

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,480	27,253	41,734	—	41,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,548	176	10,724	△10,724	—
計	25,029	27,430	52,459	△10,724	41,734
セグメント利益	432	167	600	△140	459

(注) 1 セグメント利益の調整額△140百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,646	28,325	43,972	—	43,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,706	137	10,843	△10,843	—
計	26,353	28,462	54,816	△10,843	43,972
セグメント利益	374	274	648	△144	504

(注) 1 セグメント利益の調整額△144百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。